

# 東北森林科学会 第 15 回

2010 年度（平成 22 年度）

## プ ロ グ ラ ム

と き : 2010年8月24日(火)～25日(水)

と ころ : 岩手大学農学部

( 岩手県盛岡市上田 3 丁目 18 番 8 号 )

主 催 : 東北森林科学会

共 催 : 岩手県

日本森林学会東北支部

日本林業技術協会東北支部連合会

## 大会参加者の皆様へ

### 受 付

日時 8月24日(火) 午前9時 -

場所 2番教室(北講義棟1階)

受付時に大会講演要旨集を配布致します。また、事前に参加費、懇親会費をお振り込み頂いていない方は、受付時にお支払いください。事前にお振り込みいただいた参加費は返却いたしかねますのでご了承ください。

|                        |         |
|------------------------|---------|
| 大会参加費(当日)<br>(要旨集代を含む) | 2,500 円 |
| 懇親会参加費(当日)             | 4,000 円 |

### 総 会

東北森林科学会及び日本森林技術協会東北支部連合会の総会を下記の通り行います。

日時 8月24日(火) 16:00 - 17:30

場所 7番教室(総合教育研究棟)

### 懇親会

日時 8月24日(火) 18:00 -

場所 岩手大学 レストラン「インシーズン」(岩手県盛岡市上田3丁目18番8号)

### 編集委員会

日時 8月24日(火) 10:00 - 11:00

場所 2号会議室(2号館1階)

### 理事会

日時 8月24日(火) 11:00 - 12:30

場所 2号会議室(2号館1階)

### 昼食、宿泊等について

昼食は近隣のレストラン、コンビニエンスストア等をご利用ください。宿泊につきましては、各自でご対応お願い致します。また、会場には十分な駐車スペースがございませんので、自動車でのご来場はご遠慮ください。

## 大会日程

|       | 8月24日(火)                       |            | 8月25日(水)   |            |
|-------|--------------------------------|------------|------------|------------|
| 9:00  | 受付                             |            | ポスター準備     |            |
| 10:00 | ポスター準備                         | 編集委員会      | ポスターセッションB | 口頭発表       |
| 11:00 |                                | 理事会        |            |            |
| 12:00 | ポスターセッションA                     |            | ポスター回収     |            |
| 13:00 |                                |            |            |            |
| 14:00 | ポスター回収準備                       | テーマ別セッションA |            | テーマ別セッションB |
| 15:00 |                                |            |            |            |
| 16:00 | 東北森林科学会総会 / 日本森林技術協会 東北支部連合会総会 |            |            |            |
| 17:00 |                                |            |            |            |
| 18:00 | 懇親会                            |            |            |            |

## テーマ別セッション

テーマA 8月24日(火) 13:30-15:30 7番教室(総合教育研究棟)

### 東北地方の山地防災の課題を考える

近年、東北地方では2008年6月14日の岩手・宮城内陸地震災害をはじめとして、山地災害が多発しています。特に本地震による山地災害では多数の人命が失われ、今もなお膨大な不安定土砂が堆積しており、今後の二次災害が懸念されています。

東北地方は地質の脆弱な地域が多く、また気象条件が厳しいことから、いったん大規模な山地災害が発生するとその復旧には非常に困難を要します。本災害以外でも山形県など日本海側に多発しているナラ枯れによる山地の荒廃の危険性など、東北地方特有の防災を考える課題が多くあります。こうした東北地方の山地防災の課題を皆さんと一緒に考え、その解決の方向を議論していきたいと思います。

1. 趣旨説明 (13:30~13:40) 井良沢道也 (岩手大学農学部)

2. 話題提供 (13:40~15:00)

小澤幸彦(岩手県農林水産部森林保全課)

「岩手・宮城内陸地震による山地災害の現状と今後の課題」

金子智紀(秋田県農林水産技術センター森林技術センター)

「スギ人工林の間伐が流況に及ぼす影響」

稲田瑛乃・小野寺弘道（山形大学農学部）

「ナラ枯れ被害木の放置による山地斜面の土砂流出防止機能の低下」

小野寺弘道（山形大学農学部）

「山形大学演習林の地すべりの動態について」

### 3. 討論（15:00～15:30）

コーディネーター&連絡先

井良沢道也（岩手大学）盛岡市上田3-18-8 岩手大学農学部共生環境課程

TEL：019-621-6137 FAX：019-621-6107 e-mail irasawa@iwate-u.ac.jp

---

テーマB 8月25日（水）13:00-15:30 7番教室（総合教育研究棟）

---

## 東北地方における造林の低コスト化に向けた取組と方向

伐採後の地拵，植栽，下刈り保育にいたる造林費用の低コスト化・省力化を図り，林業の収益性を改善することは，緊急の課題であり，すでに造林現場において低密度植栽などいくつかの取り組みがなされている。しかしながら，東北地方では，低コスト化・省力化に向けた試験研究は，十分な蓄積があるとは言い難い。本セッションでは，造林作業における取組みや試験事例を報告し，今後解決すべき問題点を出し合い，必要な試験や方法などについて方向を探っていきたい。

1. 岩手県における針葉樹林の皆伐面積と低コスト再造林の試行事例  
外館聖八朗（ノースジャパン素材流通協同組合）
2. スギ低密度植栽試験における植栽後5年目の生育状況  
高橋美恵子（岩手県林業技術センター）
3. 下刈り省力化試験地における植栽木の成長と形質  
木戸口佐織（岩手県林業技術センター）
4. コンテナ苗を利用した造林の低コスト化に向けた取組み  
佐々木尚三（森林総研北海道支所）ほか
5. 低コスト林業に向けた林木育種の取組み～優れた品種，優れた苗で儲かる林業へ～  
星比呂志 ほか（森林総研林木育種センター東北育種場）

コーディネーター&連絡先

蓬田 英俊（岩手県林業技術センター）岩手県紫波郡矢巾町煙山第三地割560・11

Tel.：019-697-1536 Fax. 019-697-1410 e-mail: hidetoshi-y@pref.iwate.jp

## ポスターセッション

今年度も2日間に分けて実施します。セッション開始時間までにご自分の番号のパネルにポスターを貼ってください。また，コアタイムでは発表者はポスターの前で説明をして頂きます。

### ポスターセッションA（1日目）

8月24日（火）10:00～14:00 5番・6番教室（南講義棟2階）

10:00～11:00 ポスター準備

13:00～14:00 コアタイム

14:00～15:00 ポスター回収

- 1 雄性不稔スギ（候）スギカミキリ抵抗性青森営25号の諸特性 織部雄一朗  
（森林総研林木育種センター東北育種場）

- 2 2系統のマツノザイセンチュウを接種した生存率からの家系内分散の推定事例  
蓬田英俊（岩手県林技セ）
- 3 ブナ精英樹原木と実生後代におけるサイズの関係  
宮下智弘  
（森林総研林木育種センター東北育種場）
- 4 スギミニチュア採種園内における外部花粉量の推定  
渡部公一（山形県森研セ）
- 5 ヒバミニチュア採種園の採種木からみた精英樹の初期成長特性  
田中功二  
（青森県産業技術センター林業研究所）
- 6 マツノザイセンチュウを接種したクロマツ切り枝の松脂デヒドロアピエチン酸増加量と抵抗性について  
佐藤博文（秋田農技セ森林）
- 7 千葉県我孫子市みどりのボランティアへのアンケートにみる住民参加・パートナーシップによる森林管理・利用システムの課題  
秋廣敬恵（東大院農）
- 8 「森の学校」における地域性を活かした教育プログラムの実践と環境教育の定着性の評価  
高橋良和（山形大農）
- 9 山形県内におけるキタゴヨウの肥大成長と気象要素の関係  
佐々木達哉（山形大院）
- 10 環境情報 GIS を利用した山形県内市町村別の炭素貯留量と吸収量の試算  
野堀嘉裕（山形大農）
- 11 菌類を用いた散布法によるスギ花粉飛散防止技術の検討  
窪野高德（森林総研）
- 12 スギ精英樹3クローンへのスギ黒点病菌人工接種  
壽田智久（福島林研セ）
- 13 青森県蓬田村に発生したマツ材線虫病被害木について  
木村公樹  
（青森県産業技術センター林業研究所）
- 14 月山バラモミ沢のアオモリトドマツ林の生育実態  
伊藤健吾（山形大農）
- 15 育林放牧における放牧区の面積縮小と分割の効果  
佐藤福夏（山形大農）
- 16 安比高原ブナ二次林における生態系炭素収支の年々変動とその要因  
安田幸生（森林総研東北）
- 17 白神山地におけるブナの年輪変動と気象要素の関係  
高橋慶太（弘前大理工）
- 18 ニセアカシア種子の休眠打破に対する繰り返しヒートショックの効果  
佐々木賢哉（山形大農）
- 19 ブナの開花頻度の個体差とウエツキブナハムシの被害の程度の関係  
清野陽介（山形大農）
- 20 ニセアカシア種子における休眠と非休眠の散布形態の違い 英の有無が種子の浮力に与える影響  
千葉 翔（山形大院）
- 21 哺乳類散布 4 樹種の種子発芽と実生の成長  
今田貴裕（山形大院）
- 22 ノウサギは萌芽枝を選択的に採食しているのか？  
齋藤倫実（山形大院）
- 23 広葉樹植栽地における雪消え状況とノウサギ摂食害の出現変化  
長岐昭彦・（秋田農技セ森林）
- 24 白神山地暗門調査地における繁殖鳥類モニタリング  
鈴木祥悟（森林総研東北支所）
- 25 カツラマルカイガラムシ被害林におけるキクイムシ相  
蛭田利秀（福島県林研セ）
- 26 カツラマルカイガラムシに対する猩紅病菌分生子の野外散布 散布時期と罹病状況  
在原登志男（福島県林セ）
- 27 カツラマルカイガラムシによる広葉樹林被害と殺虫剤の樹幹注入防除法  
斉藤正一（山形県森研セ）
- 28 収穫保続可能な人工林の生物多様性～山形大学演習林の昆虫から考える～  
鈴木 諒（山形大院）

- 29 アカマツ倒木の腐朽型が倒木上に定着する木本実生の密度におよぼす影響  
深澤 遊（東北大院農）
- 30 保存緑地の保全に向けた多様な機能情報づくりについて  
松山正将（東北工業大学工学部）
- 31 やまがた緑環境税のあり方に関する一考察 山形県鶴岡市上名川地区と山王町西地区におけるアンケート調査から  
高橋拓也（山形大院）
- 32 中山間地域集落における地域資源利用の現状と課題 山形県鶴岡市関川集落の事例  
鷲山立宗（山形大院）
- 33 宮城県石巻港における港湾製材の動向変化  
小川三四郎（山形大農）

### ポスターセッションB（2日目）

8月25日（水）9:30 - 12:30 5番・6番教室（南講義棟2階）

24日 15:00 - 17:00 または 25日 9:00 - 9:30 ポスター準備

11:30 - 12:30 コアタイム

12:30 - 13:00 ポスター回収

- 1 スギ林の下層木本の種多様性に影響する要因の序列化  
菅原真明（岩手大農）
- 2 粗放管理されたスギ高齢木の樹冠長率と樹幹直径相対成長速度は相関するか  
國崎貴嗣（岩手大農）
- 3 スギ・ヒノキ人工林の下層における木本種の強度間伐後2年間の生育動態  
高橋恵美子（岩手県林技セ）
- 4 山形県における広葉樹二次林の林分構造と更新状況  
上野 満（山形県森研セ）
- 5 山形県南部地域におけるスギ人工林の実態（第二報）  
柴田 泉（山形県森研セ）
- 6 幹部高温ストレスがコナラ苗木の光合成・蒸散活動に与える影響  
白旗 学（岩手大農）
- 7 積雪地帯のスギ人工林における表土の移動量 間伐等の有無・広葉樹の混交度合いに注目して  
和田覚（秋田農技セ森林）
- 8 スギ苗木の強光環境への適応に及ぼす被陰履歴の影響 成長と葉室素含有率の変化  
佐藤毅弥（岩手大院）
- 9 エリアンサス（*Erianthus ravennae*）を使用したキノコ菌床栽培  
高橋英嗣（甲南大学院）
- 10 岩手県洋野町の乾シイタケ生産者のハウス内仮伏せ事例  
高橋健太郎（岩手県林技セ）
- 11 きのこと菌床栽培施設における落下菌調査（ ） 糸状菌の種類について  
阿部 実（秋田農技セ森林）
- 12 きのこと菌床栽培施設における落下菌調査（ ） 細菌類について -  
菅原冬樹（秋田農林技セ）
- 13 園芸用プランターを利用したオオイチョウタケ栽培  
更級彰史（宮城林技セ）
- 14 岩手県の沿岸部における菌根性食用きのこシウロの発生  
成松眞樹（岩手県林技セ）
- 15 岩手県におけるマツタケの発生と気象条件の解析事例  
小岩俊行（岩手県林技セ）
- 16 ヤマブドウ糖度上昇に関する2カ年の調査結果  
菅原誠司（岩手県林技セ）
- 17 チシマザサ開花結実と花粉管の伸長  
中村人史（山形県森研セ）
- 18 コシアブラの増殖方法の検討  
古澤優佳（山形県森研セ）
- 19 岩大式作業路の路面支持力特性  
澤口勇雄（岩手大農）

20 NZ 北島ランギポ・デザート・タソック・マウンドの発達・崩壊過程

菊池俊一（山形大農）

21 岩手・宮城内陸地震による2次災害防止をめざした気象・融雪観測

高橋祐紀（岩手大農）

22 大湯村広葉樹防風林の生育状況

田村浩喜（秋田農技セ森林）

23 空中写真による雫石川下流域の樹林帯の変動解析

長井駿（岩手大院農）

24 融雪水による落葉リター由来 DOC の生成パターン

融雪ライシメータとリターバック法による定量解析

小野賢二（森林総研東北）

25 スギ人工林間伐前後における林内雨の pH と EC の変化

岩谷綾子（秋田農技セ森林）

26 スギ及びヒバ心材の抽出成分とその抗蟻活性

小野智史（山形大農）

27 ハダニに対するスギ葉抽出物の生物活性

山下陽平（山形大農）

28 県産スギ平角材の乾燥(3) - 高温セット処理後の天然乾燥試験における季節別の乾燥性について -

小沼研二（福島県林研セ）

29 県産スギの乾燥特性を踏まえた建築用材の乾燥技術

矢萩芳春（山形県森研セ）

30 木質バイオマス効率利用システム調査( )

鈴木健治（山形県森研セ）

31 複数回聞こえる「やまびこ」の発生条件の推定

佐々木美佳（山形大農）

32 万葉集に現れる森林 古代の人々と森林の関わり

寒河江静香（山形大農）

33 鶴岡市の寺社境内に生育するイチヨウの年輪解析

佐々木賢二（山形大農）

34 ハーベスタとフォワードを組み合わせた伐出システムによる高齡間伐の生産性とコスト

佐々木貴光（岩手大院農）

## 口頭発表

8月25日(水) 10:00 - 11:45 7番教室(総合教育研究棟)

口頭発表は1題15分(発表12分, 質疑3分) 厳守でお願いします。発表者には次の発表の座長をしていただきます。使用機材は液晶プロジェクターです。パワーポイント用ファイルは9:45までに(できるだけ前日に)USBフラッシュメモリあるいはCD-ROMの形で会場係にお渡しください。なお, 会場のパソコンのOSはWindowsXP, ソフトはPowerPoint2003の予定です。PowerPoint2007をお使いの方は2003で読めるようにしておいてください。パソコンの持ち込みはお断りいたします。

10:00-10:15 土壌特性と植栽木の成長に対する全木集材の影響

・北海道の未熟土におけるアカエゾマツ林を対象に・

平井敬三(森林総研東北)

10:15-10:30 岩手県好摩のコナラ林における間伐後38年間の成長

杉田久志(森林総研)

10:30-10:45 樹下植栽試験地におけるヒバ選抜系統クローンの葉の光合成パラメーターの変異

橋本良二(岩手大農)

10:45-11:00 樹木個体呼吸から何がみえるか

森 茂太(森林総研)

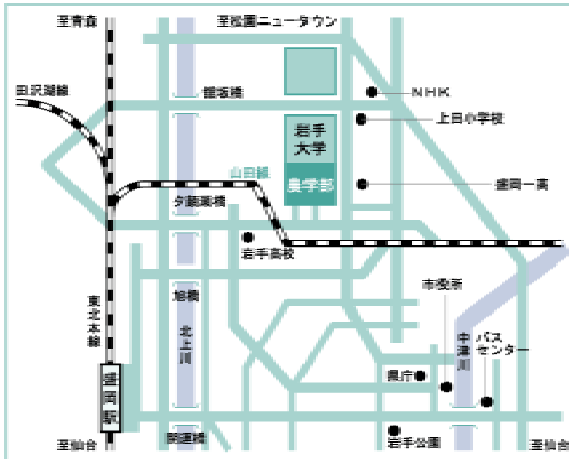
11:00-11:15 小規模な搬出工程における馬搬作業の可能性

立川史郎(岩手大農)

11:15-11:30 ILO 報告(2003)等に見る世界の林業労働者と労働運動

菊間 満(山形大農)

## 大会会場案内図



岩手大学農学部

〒020-8550 盛岡市上田 3 丁目 18-8

TEL 019-621-6103

盛岡駅から農学部まで約 2km、徒歩約 20 分

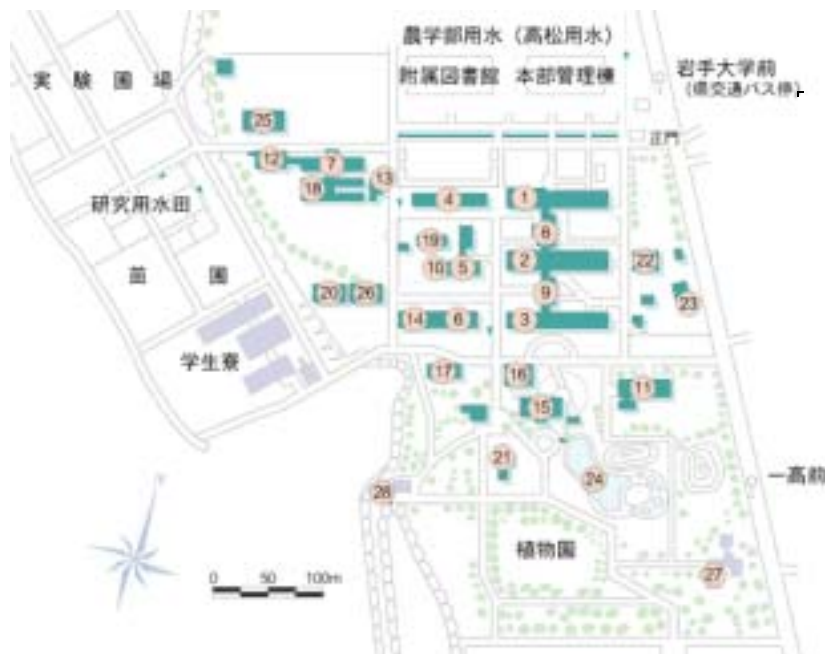
盛岡駅から岩手大学までの路線バス

11 番乗り場より（約 20 分おき、所用時間約 10 分）

松園バスターミナル行 または 桜台団地行乗車

岩手大学前下車 片道 210 円

## 農学部内



1 号館

2 号館

3 号館

4 号館

総合教育研究棟

6 号館

7 号館

北講義棟（大会受付）

南講義棟

寒冷フィールドサイエンス

教育研究センター

動物病院

## 大会に関する問い合わせ先

〒997 8555 山形県鶴岡市若葉町 1 - 23 山形大学農学部生物環境学科内

東北森林科学会 第 15 回大会運営委員会

事務局：TEL & FAX 0235-28-2922(芦谷), TEL & FAX 0235-28-2925 (大谷)

E-mail : ashitani@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp, hohtani@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp